

経営比較分析表（平成29年度決算）

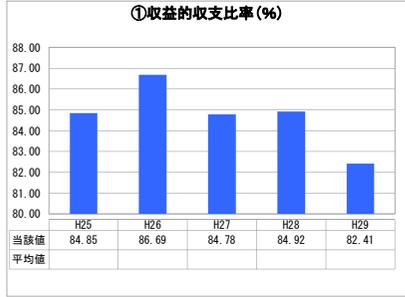
兵庫県 上郡町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	小規模集合排水処理	I2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	0.22	94.73	3,024

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,292	150.26	101.77
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
33	0.01	3,300.00

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



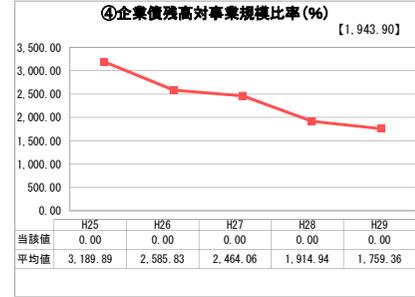
「単年度の収支」



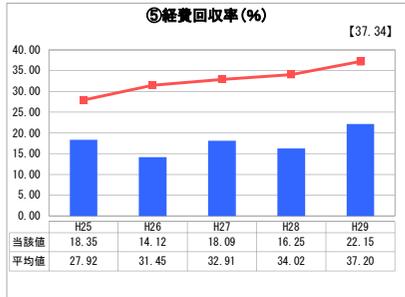
「累積欠損」



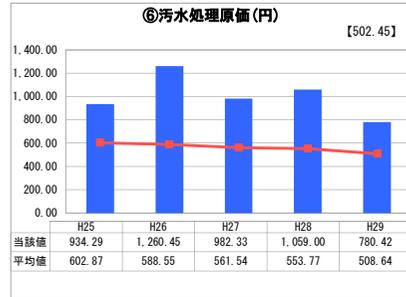
「支払能力」



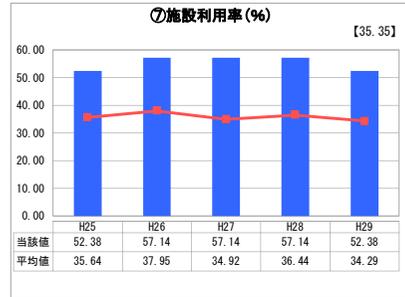
「債務残高」



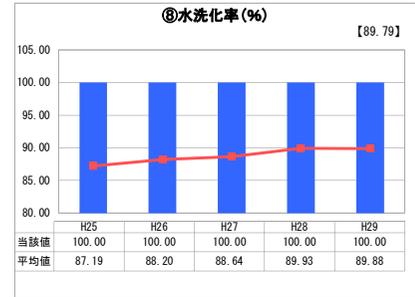
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

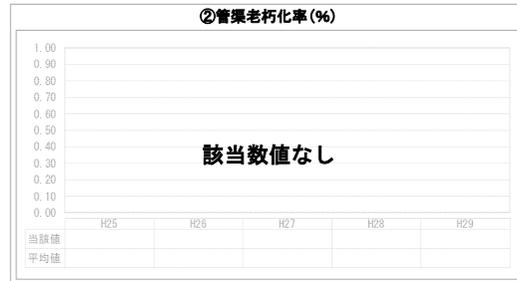


「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、82.41%となり前年度と比べて、2.51ポイント減少しました。主な要因は、企業債の償還の増加であり、今後も企業債償還は同程度の金額が続くことが見込まれており、比率は、低下する傾向であると予想しています。

④企業債残高対事業規模比率は、類似団体と比較し、低い数値ですが、企業債の増加は下水道事業だけでなく町全体の財政状況に影響があるため、企業債残高については、今後も注視する必要があります。

⑤経費回収率は、22.15%となっており、前年度に比べ5.9ポイント改善しました。前年度に比べ維持管理に関する汚水処理費用が減少したことが主な要因です。しかし今後は、施設の老朽化に伴って、維持管理費用は増加することが今後見込まれます。今後も適正な料金収入を確保できるよう取り組みます。

⑥汚水処理原価は、780.42円となっており、前年度に比べて278.58円減少しており、前年度に比べ維持管理に関する汚水処理費用が減少したことが主な要因です。しかし、今後は施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれ、汚水処理原価は増加する見込みです。

⑦施設利用率は、類似団体より高い数値であり、適正な規模での施設利用ができています。

⑧水洗化率は、類似団体平均よりも高い数値ですが、区域内の整備が完了しており、新たな接続に伴う有収水量の増加は見込めない状況です。

2. 老朽化の状況について

小規模集合排水処理施設事業については、近年、管渠の更新は行っていません。今後の老朽化対策については、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止するため、限られた財源の中で、効率的で計画的な老朽化対策について検討し、実施していきます。

全体総括

小規模集合排水処理施設については、区域内の整備が環境しており、今後は新たな接続などは大きく見込めない状況にあります。

また、人口減少が懸念され、安定的な使用料の確保のために、より一層の効率化を図る必要があります。

今後は、経営状況を注視したうえで、健全な経営に向けて適切な使用料の設定などを検討していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。